

# 孫の手通信



## — 第34号 —

平成27年7月17日

玉川孫一郎と歩む会

千葉県長生郡一宮町船頭給8-7

TEL/FAX: 0475 (47) 3014

<http://magoichiro.blog47.fc2.com/>

はじめに、町民の皆様にお知らせがあります。  
当後援会がウミガメ会議開催の予算に関与したかのよ  
うな指摘が一部にあります、そのような事実はありま  
せん。

\*ウミガメ会議の詳細は裏面をご覧ください。

## 6月議会開かれる

6月18日に開催された第2回一宮町議会定例会は補正予  
算のほか、全ての議案を可決して閉会しました。  
補正予算の主な内容をお知らせします。

### 平成27年度一般会計(第1次)補正予算

補正額 5202万円

#### ○地域再生戦略計画策定事業

1000万3千円  
JR上総一ノ宮駅東口開設を含む、環境整備計画「新世代  
サーフタウン計画」を100%国の交付金で策定します。

駅東口開設が構想から27年経っても実現せず、町の長年の  
懸案事項である理由は、事業費の財源を確保できなかったた  
めでした。

国の交付金を活用して、今後はできるだけ早くJR側と協  
議を重ね、計画書を作成します。そして作成した計画書を持  
つて国のプレゼンテーション審査に臨むことにより、地域再  
生法の事業認定の採否が決定されます。事業が認定されれば、

総事業費の50%の交付金を受けられるようになり、極めて有  
利な条件で駅東口開設が進展します。

#### ○子育て支援アプリ作成事業

900万円

地図と位置情報を利用して最寄りの授乳室やオムツ替えス  
ペースなどを検索できる機能を中心に、子育てに役立つコン  
텐츠を盛り込んだ町のスマートフォンアプリを作成します。  
なお、現在申請中の国の交付金が採択された場合にこの事  
業を行います。

#### ○交通安全施設整備事業

660万円

元川鉄保養所前の町道及びホテル一宮シーサイドオーツカ  
海側の町道の迷惑駐車対策として、ラバーポールを設置しま  
す。

総延長はおよそ2キロにも及ぶものですが、地元新浜区民  
が長年苦しんできた迷惑駐車車の解消が期待されます。

#### ○県道一宮停車場線植栽帯整備事業

498万2千円

役場前の県道一宮停車場線の植栽帯およそ1.3キロを、  
維持管理が容易なガザニアで整備します。この道は一宮海岸  
の正面玄関に当たる位置付けであり、環境美化の一環として  
大塚基金を使用します。

本来、県道として千葉県により整備されてきましたが、近  
年は財政上の理由で維持管理が不足して荒れていました。町  
としては、町中心部の駅から海岸へと続く象徴的な道路であ  
る上、観光客や各種イベントの来場者の目に留まる道路でも  
あるため、平成27年度に住民提案事業で整備していく方針を  
立て、協力していただける団体を募集していました。しかし  
応募が無かったことから、海水浴シーズンや九十九里トライ  
アソンなどのイベント開催前までに町が整備するものでは  
ないです。

#### ○個人番号カード関係経費

430万1千円

10月からマイナンバー制度がスタートするにあたって、カ  
ードの作成などを100%国の補助金で行います。

#### ○原区コミュニティ事業

240万円

笛、太鼓などのお祭り備品を100%県の助成金で整備し  
ます。

○一宮小学校グラウンド法面改修工事 129万6千円  
城山下の法面モルタル吹付の一部が剥離したため、改修工  
事を行います。

## はまぐり祭り

一宮海水浴場の海開きと同時に「南九十九里はまぐり  
祭りin一宮」が開催されます。今年「県民の日」長  
生地域行事として例年以上に盛大に行われます。

はまぐり拾いやつまみどり、直売で手に入れたはまぐ  
りを、バーベキューで食べることもできます。家族みん  
なで楽しめるイベントをたくさん用意してお待ちして  
います。

日時 7月18日(土) 午前11時〜午後3時

※雨天決行・荒天中止

会場 一宮海水浴場

## 渚のファーマーズマーケット

大塚実基金を利用して旧国民宿舎跡地に整備された  
一宮海岸広場の竣工記念に合わせて、「渚のファーマー  
ズマーケット」が開催されます。

99もの多彩なお店とイベントが盛りだくさんです。

日時 7月19日(日) 午前10時〜午後4時

※雨天決行・荒天中止

会場 一宮海岸広場(旧国民宿舎一宮荘跡地)

7月1日から9月30日までの夏の観光シーズン、  
千葉県道路公社の有料道路(九十九里有料道路・東金九  
十九里有料道路・千葉外房有料道路など)が  
無料になります。

# ウミガメ会議開催へ

11月に一宮町で開催される第26回日本ウミガメ会議（一宮会議）について詳しくご説明いたします。

ウミガメ会議への町からの補助金はその全額が大塚実海と緑の基金から支出されます。大塚基金は条例により環境保護の目的に限定されており、他の目的に使うことはできません。

## 大塚実海と緑の基金

大塚基金は、株式会社大塚商会の創業者であり、現在は相談役名誉会長の大塚実氏が一宮町の自然保護と再生に活用されることを希望して寄付された1億円を基に作られた基金です。

大塚氏は日本の美しい自然の保護と失われた景観の再生を第二のライフワークとされており、東京の日本橋川と神田川の水質浄化、鴨川の大山千枚田の棚田の保全、熱海の梅園の再生などに取り組みられております。一宮ではこれまでに県有保安林を「しおさいの森・花の小径」として整備されてきましたが、ウミガメの保護活動にも理解を示され一宮ウミガメを見守る会の活動を応援されるとともに、今回のウミガメ会議の開催を歓迎されております。

大塚基金無しにウミガメ会議を一宮で開催することはできなかつたわけで、大変感謝しています。

## 開催の経緯

ウミガメ会議を主催しているNPO法人日本ウミガメ協議会から、昨年10月に急遽2015年の会議開催の協力要請があり、これを受諾して一宮町で開催される運びとなりました。

ウミガメ会議はウミガメの調査をしている人や研究者、水産関係者らが、全国は元より海外からも参加して

各地のウミガメについて情報を交換する会です。1990年から毎年開かれて今回26回目を数えますが、首都圏での開催は一宮が初めてとなります。

## 開催のねらい

歴史あるウミガメ会議を一宮町において開催することで、ウミガメの保護活動や環境問題に対して町民はもちろん近隣市町村の方にも関心を寄せてもらうことができます。また、新聞やテレビ、ネット等のメディアを通じてこの

会議が全国や世界に発信されることで、一宮町の豊かな自然環境を広くアピールすることにもなります。ウミガメ会議をきっかけに知名度を高め、実際に足を運んでいただくことにより、移住者による人口増加を促すとともに観光客増加などの大きな波及効果をもたらすと考えております。

## 補助金申請の流れ

一宮町補助金等交付規則に則った補助金申請の流れをご説明いたします。

- ① 前年度に団体から提出された概算資料に基づいて予算を編成。
- ② 補助対象事業の細目が固まり次第、詳細な資料と交付申請により補助金の金額を決定。
- ③ 事業完了後、実績報告書の書類審査と場合によっては現地調査によって実際の交付額を決定し支出

現在のところ、補助金の金額はまだ決まっておりません。これから日本ウミガメ協議会の交付申請があり、町が精査して決定することになります。

## 千葉県環境財団の助成

ウミガメが上陸し産卵できる自然環境を後世に引き継げるよう、会議の開催を契機に一宮町だけではなく九十九里沿岸のウミガメ保護活動を継続・発展させるため、

昨年12月、一般財団法人千葉県環境財団に環境再生事業の助成を申請しました。4月に環境再生事業に採択され、対象事業の2分の1が助成されることとなり、364万9千円の交付決定を受けました。

財団の助成対象は会議開催と町が行う保護活動事業に分かれています。会議開催の主体は日本ウミガメ協議会ですが、会場の借り上げ代や砂浜観察と会場地のバス運送費などについては、一宮町が誘致するために町が支出するということが助成の対象として認められております。

## 予算の組み替え

財団の助成事業の活用には町からの補助金の組み替えが必要であることから、今後、予算の内訳を明確にして議会にて皆様にお諮りしたいと考えています。

## 一宮とウミガメ

絶滅が危惧されるアカウミガメにとって、日本の海岸砂浜は北太平洋で唯一の産卵場所であり、一宮町を含む九十九里浜はその北限域に位置しています。昨年は一宮の海岸に35回の上陸があり、そのうちの18ヶ所で産卵していました。

一宮町でのアカウミガメの保護活動は20年以上の歴史があり、1994年に秋山章男先生（元東邦大学理学部教授）がお一人で生態調査を行ったのが始まりです。そして2009年に一宮ウミガメを見守る会が調査活動を引き継ぎ、今日まで献身的な活動を続けています。昨年4月に一宮ウミガメ保護条例が成立し、見守る会の会員3名が町から保護監視員に委嘱され、観察や海岸清掃などの活動に加えて、捕獲などの違反行為が行われないようパトロールを行っています。

最後に、一宮町で開催される日本ウミガメ会議を成功させるために、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。